

氏名	押野 修司	部署	作業療法学科	職名	准教授
研究分野	小児作業療法、3Dプリンターの作業療法教育への導入、乗馬姿勢の運動学的解析				
学位	修士（リハビリテーション）				
学歴	1991年専門学校社会医学技術学院作業療法学科、2003年筑波大学大学院教育研究科修士課程、2017年首都大学東京大学院人間健康科学研究科作業療法科学域博士後期課程単位取得退学				
経歴	1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科准教授				
所属学会（役職）	埼玉県作業療法士会（理事）、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会（理事）、動物介在教育・療学会（理事・副理事長）、日本作業療法士協会、日本COG-TR学会、埼玉コグトレ研究会（アドバイザー）				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	作業療法教育における3Dプリンタの活用と可能性	共著	あり		埼玉作業療法研究、21、18-24	押野修司、小池祐土、久保田富夫
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	作業療法士と小学校の通級による指導を担当する教諭の連携の現状－作業療法士への質問紙調査－	単独	第56回日本作業療法学会、京都		○押野修司	2022年9月
2	発達障害を対象とした通級指導教室の連携の実態と課題	単独	一般社団法人日本LD学会第31回大会、京都		○押野修司	2022年10月
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	生活環境技術学		4	3年生必修。3Dプリンタを活用した自助具の作業療法学生としてのアイデアをグループ学習させた。クラス内におけるプレゼンテーションを課題とした。中間発表会により進捗状況を把握し、最終発表会ではコンテスト形式で投票、学生相互評価を実施した。		
2	小児保健看護学（健康開発学科）		2	1-2年生選択。発達時期の子どもの障害とその対応について講義した。資料は動画教材、静止画を多く使用し、福祉用具についても提示した。		
3	ヒューマンケア論		2	全学1年生必修。「ヒューマンケアの視点から考える作業療法とは：「発達障害領域」（主として就学前）」をテーマに臨床経験の具体例と、ヒューマンケアに対する考えを述べた。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	作業療法情報管理論	○	8	2年生必修。作業療法における記録、報告に関する講義と演習を実施した。同日に対面授業のため、感染予防対策を徹底した上で、対面授業で実施した。1コマを講義（40分）、演習（40分）に分け、講義では実際に使用されている書式を見せながら説明した。演習では模擬患者と作業療法士の模擬的な評価と治療場面の動画の観察記録を書かせ、毎回コメントを付けて返却した。		

2	発達期作業療法学演習	○	15	3年生必修。小児の発達マイルストーンについて、作業遂行課題（遊び、食事、排泄、更衣、整容）、作業遂行要素（運動、感覚-知覚-認知、心理、社会機能）に分け、動画、静止画を多く使用した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床作業療法技能実習		4.5	2年生必修。2年次後期（春季休業期間）に配置されている臨地体験実習（身体機能）の3週間の準備のため、臨床場面で多く用いられるADL指導（更衣動作）の評価と治療について講義と演習を担当した。デモンストラーションでは患者役を行った。
2	作業分析学実習		4.5	2年生必修。作業療法における活動分析の技術習得のため、革細工による「小銭入れ」の作成と活動分析を課題とした。
3	基礎作業学実習	○	15	3年生選択。手工芸を作業療法治療に応用することを念頭に、手工芸の実施経験を増やし、活動分析を課題とした。
4	発達期作業療法学実習		8	3年生必修。子どもの発達状況の把握とさらなる発達を促進するための提案を行うことを目的に、教員が子ども、保護者へのかかわり方を例示し、学生にかかわり方を指導した。
5	臨地総合実習（身体機能・精神機能）		1期2022.4.11-5.27 2期2022.6.6-7.22	4年生必修。1期3名、2期3名を担当した。中間訪問により、学生と指導者の実習状況を把握し、必要に応じて課題量の調節を依頼した。中間訪問は、実習病院の状況を把握し、訪問可能であれば対面、訪問不可の場合は、電話又はzoomの中間訪問とした。
6	IPW実習		2022.10.4-10.7	4年生必修。県立大学学生5名、埼玉医科大学1名のチームを担当した。Zoomにより遠隔実習あった。2022年は実事例であった。クリニックの訪問リハビリテーション及び、在宅ケアに関わる多職種連携を学んだ。
7	臨地体験実習（高齢期・発達期）		2023.2.20-3.11	3年生必修。発達期を志望する学生13名を担当した。全ての学生がコロナ対応1週間+1週間遠隔事例検討に参加した。遠隔事例検討は、臨床家3名を登用し、3事例準備した。3事例共、小児作業療法を経験した卒業生3名が担当した。事例検討を深めるため、毎日Zoomにて事例に関する情報共有およびディスカッションを実施した。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2022.4-2023.2	主指導 5名 副指導 10名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ
1	感覚運動遊び支援実践研修（保育士・幼稚園教諭等）		埼玉県発達障害総合支援センター	発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修
2	感覚運動遊び支援実践研修（障害児通所支援事業所職員、市町村職員等）		埼玉県発達障害総合支援センター	発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修
3	令和4年度厚生労働省指定第2回臨床実習指導者講習会（埼玉県講習会）世話人		一般社団法人埼玉県作業療法士会	令和4年度厚生労働省指定第2回臨床実習指導者講習会（埼玉県講習会）講義1：理学療法士、作業療法士養成施設における臨床実習制度論 意義・目的・内容・仕組み 演習1：一般目標と行動目標、グループのファシリテータ
4	令和4年度厚生労働省指定第3回臨床実習指導者講習会（埼玉県講習会）世話人		一般社団法人埼玉県作業療法士会	令和4年度厚生労働省指定第3回臨床実習指導者講習会（埼玉県講習会）リリース講師、グループのファシリテータ
				開催年月
				2022年9月
				2022年9月
				2022年8月
				2022年11月

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	独立行政法人教職員支援機構	令和4年度教員資格認定試験問題作成委員会委員	2022.4-2022.11	
2	一般社団法人 日本作業療法士協会	事例報告登録制度 一般事例A審査員	2021.9~現在	
3	一般社団法人 日本作業療法士協会	日本作業療法学会 演題審査委員	2021.1~現在	
4	一般社団法人 日本作業療法士協会	学術誌「作業療法」編集委員会 第一査読者	2021.4~現在	
5	一般社団法人 埼玉県作業療法士会	理事、学術部長	2021.6~現在	
6	一般社団法人 埼玉県作業療法士会	学術誌「埼玉作業療法研究」編集委員	2000.4~現在	
7	日本リハビリテーション連携科学学会	学術誌「リハビリテーション連携科学」査読委員	2020.6~現在	
8	特定非営利活動法人 動物介在教育・療学会	理事	2021.1~現在	
9	特定非営利活動法人 動物介在教育・療学会	学術誌編集委員	2021.1~現在	
10	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事、会計委員長	2022.4~現在	
11	埼玉コグトレ研究会	アドバイザー	2021.4~現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	放課後等デイサービス ASSIST	知的障がい者サッカー体験会（小学生以上）	2023.3.5
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	オープンカレッジ小学生対象講座「3Dプリンタを使ってみよう」		2022.7.28
2	全学的委員会及びセンター業務等	オープンカレッジ中学生対象講座「3Dプリンタを使ってみよう！」		2022.8.4
3	全学的委員会及びセンター業務等	オープンカレッジ小学生対象講座「3Dプリンタを使ってみよう」		2022.8.10
4	全学的委員会及びセンター業務等	オープンカレッジ中学生対象講座「3Dプリンタを使ってみよう！」		2022.8.23
5	全学的委員会及びセンター業務等	オープンカレッジ卒業生支援講座「現場で使える3Dプリンタの活用法」		2022.10.28
6	全学的委員会及びセンター業務等	オープンカレッジ専門職スキルアップ講座「現場で使える3Dプリンタの活用法」		2022.11.11
7	大学広報活動	オープンキャンパス「3Dプリンタの作業療法での活用を知ろう」		2022.8.6-8.7
8	学科等における委員会等	卒業研究発表会「最終発表会」運営		2022.4-2022.11
9	学生支援	学年担任（1年次）		2022.4-2023.3
10	学生支援	「第7回かすかべビジネスプランコンテスト」指導		2022.4-2022.11
11	学生支援	「学生政策提案フォーラムinさいたま」発表会当日の同行支援		2022.11
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			